

# 甲州印伝への山梨県産鹿革の活用とプロダクトの試作開発

研究期間：平成27～28年度 研究機関：山梨県産業技術センター／山梨県富士山科学研究所

POINT

全国に先駆け、害獣として駆除されるニホンジカを甲州印伝に有効利用し、ビジネスベースで製品化した

## ◆現状



## ◆研究目的

社会的課題 × 伝統工芸振興

甲州印伝の素材に、管理捕獲されたニホンジカ由来の革を用い新しい価値、新しいプロダクトを生み出す

## ◆解決すべき課題

ニホンジカ皮の有効利用を阻む三大要因

キズ・虫食い  
狩猟の弾痕

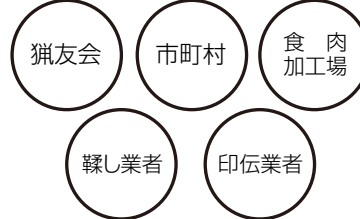
安定供給

コスト

## ◆研究内容

### 産業技術センター

県内外のビジネスネットワーク形成



- ① 鹿原皮の品質規定づくり
- ② リン酸系鞣製剤を用いた環境負荷のない鞣し加工
- ③ 物性評価
- ④ 印伝の新柄作製(7柄)
- ⑤ プロダクトデザイン(5種)
- ⑥ バイヤー等の受容性評価

### 富士山科学研究所

- ⑦ 富士北麓のニホンジカ電波追跡調査
- ⑧ 「捕獲・解体マニュアル」の作製

## ◆得られた成果

キズ・コスト等の問題をクリアし、これまでにない白色の鹿革と印伝製品が完成



無漂白・無染色の純白の鹿革



日本初の白色の印伝製品



今の時代に合う新しい印伝文様



バイヤーからは高評価

6月9日(金)から甲府・南青山・神戸元町で販売開始

ニホンジカの有効利用に機能する資料が完成



ニホンジカの生息状況まとめ



ポイントをまとめた冊子(PDF形式)